

破天荒

教宣部

5058号

2019年
3月27日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合



2019年 春闘2次団交 検討結果 ベアゼロ回答 竹中の賃金は高いので…

昨日は春闘二回目の団交でしたが、やはりベアはゼロのまんま。グループ各社が安定して利益が出るようにならないと無理とかないなながら要約すると出したいくないという事でした。

社長代行解任

昨年十月に出された人事広報で会長が社長代行を行うのは「本人事は欠品・納期遅延問題が終息するまでとします」と書かれてました。それが先日「任を解く」の発令されたという事は、製品の納期遅延問題が終息し、部品の欠品状態が解消されたという判断をされたと思えます。

会社説明としてはコンピュータ問題はほぼ解決したので任を解いた。部品



疑問に思う書類作成・コピー・業務はほとんど削減して合理化・効率化を図ってほしい。ただし、必要なムダもあります。(ムダに見えて必要なもの)それは続けにくいかもしれませんが、以前、会長からのお言葉がありました。しかし、ムダでは?と思うられることが今は多く見つけられます。

「ムダの撲滅」 ↓ 必要なムダもあります

・何かあれば些細な事でも打ち合わせや会議を実施。
昔は一部門で判断して行動できていたことが、今は打ち合わせや会議を行わないと判断も出来ない部門長。
・何かあればすぐに書類を要求。
昔であれば打ち合わせや会議で決まったことは、すぐ行動に移していたことが依頼票、業務連絡票、製品変更提案書など書類が多ければ動けない風習に変わり、気づけば決定してから数か月、数年動かないことも多々発生している。

・連日コピーラッシュ
昔であれば打ち合わせや会議で決まったことは、すぐ行動に移していたことが依頼票、業務連絡票、製品変更提案書など書類が多ければ動けない風習に変わり、気づけば決定してから数か月、数年動かないことも多々発生している。

新システムになったことで連日数百枚から数千枚のコピーが印刷されておりコピー機を占有することも多々あり。しかもそのコピーはチェックが終わればシュレッダー(金額などが入っており再利用不可)で印刷していたかしら?

の欠品・納期トラブルを何とか解消し、歩留まり向上を目指したいということでした。
何ソレ? 特定製品の歩留まりが悪いのは前社長時代からあったけども納期トラブルなんてなかったし、部品の廃版も常に対応してきた課題です。強いて言えば現在の体制になってから部品の廃版連絡が突然・至急

残業食事代

オプトでは協約が無効になった期間に、夜七時以降の残業食事代が出なくなつて現物(カップ麺)支給に

なっているそうです。三百円もするカップ麺かどうかは別にして、協約が復活したのだから協約に基いて残業食事代を支給するよう要請しました。また組合員と他の従業員の差別も行わないと会社は明言していますので協約は順守されると思います。
それに関連して東野第二で「時間外労働における休憩、食事時間」について協約に従い確認をしました。「十九時以降に及ぶ時間外労働を行い実際に食事を喫食する場合には、その食事時間を与える。なおこの時間数は労働時間に含めるものとする」という条文です。緊急の残業で十九時に及ぶ場合、腹が減っては仕事もでき

きません。そういう時は当然上司と一緒に作業しているだろうから、上司がコンビニなどに弁当を買い出しに行くもんだらうという総務の見解でした。
タイムカード
今年の四月から働き方改革に伴い、安全衛生法で管理監督者である管理職も含めてタイムカードや磁気記録など客観的な方法で時間管理するようになりました。決してタイムカードに手書きで記入する(現在の営業)とか就業規則で譴責に処される代理人がタイムカードを打刻するのは明らかな法令違反となります。